

平成 31 年 2 月 18 日

## 多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.5 ～史蕭逸さん(東京大学大学院 医学研究科 助教)～

第五回の多治魂セミナーは平成 31 年 2 月 18 日に、やまかまなびパークにて開催しました。今回の講師は東京大学大学院医学研究科の史蕭逸さんです。今回の講演会には多治見北高校の生徒 35 名、多治見高校の生徒 17 名が参加してくれました。

今回のセミナーは、「“なぜだろう” を仕事にする楽しさと難しさ-生物はなぜ眠るの?」というテーマでお話ししていただきました。会の初めには、高校生の時に物理学が好きだった史先生が大学に入学後、いかにして生物学に引きこまれていったのかお話ししていただきました。また、学部生時代に研究されていた植物の自殖と他殖の理論研究についてもお話しいただき、理論だけでは真理にたどり着くことができなかつたともお話しされました。最後に、史先生が現在行われている睡眠に関する研究を紹介していただきました。

今回の講演会では、史先生が google form を使って質問やコメントを講演中随時受け付けてくださり、先生がすべてに答えきれない量のコメントが寄せられていました。素晴らしいことです。一方で、質疑の時間に挙手をして質問する人がいつもより少なかったことは残念でした。講師の方と直接話すことは単に知識が得られるだけでなく、正確に話そうと準備することで自分の頭の中が整理されるものです。また、大勢の前で質問することは勇気があることですが、自分が気になることは他の人も気になっていることが多いので、自ら進んで質問してください。



講演中にたくさんのコメントや質問が出ました。



講演後も質問が止まりませんでした。

### <生徒の感想>

科学研究は、小さな疑問から大きな疑問にしてそれを紐解く、かたいイメージを持っていたけれど、今日の話を知るととても面白く、引き込まれました。講演会中に携帯電話でインターネットを介して質問することは、自分が参加している感があるし、恥ずかしくて質問できない人でも気軽に質問できていいと思いました。睡眠は私たちにとっては当たり前だけどそこにある謎を探る研究者はすごいと思いました。講演を聞いてよかったです。ありがとうございます。

最初は博士の話は難しそうだなと思っていたけれど、一つ一つを丁寧に説明して下さったおかげでなぜ眠るのかが少し分かり、面白かったです。私はあまり科学研究に興味を持っていなかったのですが、先生のおかげで研究は大変だけどそれ以上に達成感とか楽しさがあるんだろうなと実感しました。私は文系に進もうと考えていますが、疑問を大切にしたいと思いました。

脳科学の分野は元から興味がありました。イオンの通過によってニューロン細胞が電気を飛ばすことについては知らなかったので、興味深く聞くことができました。研究と聞くと、とても大変なことだと思っていましたが、データを積み上げて、相関関係や因果関係を証明することは想像以上に大変だと感じました。

「なぜ」を大切に人生を生きていくのはとても良い考えだと感じられたので、参考にします。本当にありがとうございました。

根本的な、なぜ、という問いを深く追究することはすごくおもしろそうだなと思いました。今日の講演では、そういった、なぜ、どうしてということを質問したら答えてもらえることが新鮮でした。とても楽しい時間でした。

たじこん  
**多治魂セミナーとは…**今年度から多治見高校で、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらうために、大学などの研究機関や企業で夢をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。

担当：佐賀達矢